

竹の子 だより

第129号 令和4年10月22日(土)発行
発行責任者 晝場 浩司 編集 明星会本部
発行 社会福祉法人 明星会
【住所】〒250-0052 神奈川県小田原市府川752-5
【TEL】0465-32-7740 【FAX】0465-32-7741

明星会HP



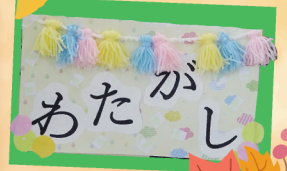
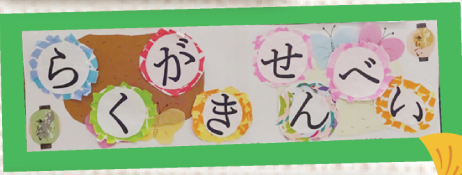
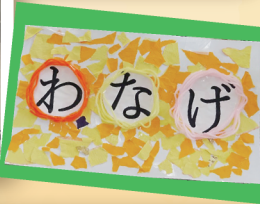
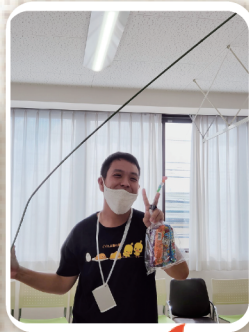
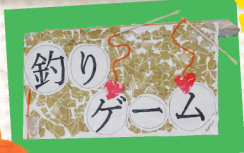
竹の子学園



竹の子ケアセンター 9/7



縁日風
ランチ



竹の子学園

夏の思い出

夏祭り

7/23



おいしい物を たべようレク

9/27



うな重か
ひれかつ重の
セレクト



ありがとう

Thank You feelings of good intentions

善意の気持ち

▼小田原市社会福祉協議会様より
新鮮な野菜を沢山ありがとうございます。
各グループホームで美味しくいただきました。



「前向きに考えられるようになった」とのお話をいただきました。この活動を通してご本人や他のメンバーにとって良い時間を過ごすことができました。また、当事者の声として、地域の会議等で話し合いのできる場をいただくことも増えてきており、それもメンバーの励みとなっています。

相談支援センターりあんでは、今後もピアサポーター活動の支援を行っていきます。活動にご興味のある方は、ぜひお問合せ下さい。

(美濃島)

相談支援センターりあん

ピアサポーターフレন্ズ

九月十日(土)、南足柄市女性センターにて「ピアサポーターフレンドズ定例会」と本年度第一回目となる「ピアサポーター養成講座」を行いました。

養成講座では、当事業所の相談支援専門員を講師として「ピアサポーターってなに?」という基本的な理解を体験ゲームなども交えて行いました。現在、フレンドズにて活動されているメンバーからも、今までの活動やそこから学んだことなどを発表いただきました。多数のメンバーから「この活動に参加するのが楽しみ」

チョークアート



放課後等デイサービス ぽっぷ



紙粘土でマカロン作ったり～



たのしいな♪



アイス食べたり♪



おいしい給食もありかとうございました♪

早川港



早川港にマイクロで出発～



お魚いるかな～

水遊び



夏はやっぱり水遊び～!



3年ぶりだ～!遊ぶぞ～!

駄菓子屋



これいくらですか?



何はしようかな～



開店まだかな～♪



ワイワイ♪

また、七月の衛生・防災研修訓練の職員のグループワークでは「敷地内の駐車場へ避難すると、消火活動の邪魔にならない」との意見があり、ぽっぷではパン工房ハッピーの駐車場に避難を初めて行いました。今後も、実際の火災を想定した訓練を実施していきたいと思えます。(松井)

また、七月の衛生・防災研修訓練の職員のグループワークでは「敷地内の駐車場へ避難すると、消火活動の邪魔にならない」との意見があり、ぽっぷではパン工房ハッピーの駐車場に避難を初めて行いました。今後も、実際の火災を想定した訓練を実施していきたいと思えます。(松井)



利用者訓練の様子

八月二十四日 防災訓練

七月二十三日 職員衛生・防災研修訓練
竹の子ケアセンター、パン工房ハッピー、竹の子ホーム、放課後等デイサービスぽっぷ、相談支援センターりあん合同で、防災対策・感染症対策をテーマとした職員研修会・訓練を行いました。感染症対策に関する講義や、防護服の取り扱いを訓練し、災害時の避難経路・誘導方法をグループワークで確認し、非常食を実際に作って食べてみました。非常時にはそれぞれの事業所が協力し合えるよう、日常的に、情報交換も行っています。(安藤)

八月二十六日 パン工房ハッピー 水害避難訓練&消火訓練

竹の子ケアセンター・放課後等デイサービスぽっぷ・相談支援センターりあん及びエム・ティー・フード(給食委託業者)様合同で消防通報訓練・避難訓練を行いました。ご利用者のみなさん、慌てることなくスムーズに避難出来ました。また、七月の衛生・防災研修訓練の職員のグループワークでは「敷地内の駐車場へ避難すると、消火活動の邪魔にならない」との意見があり、ぽっぷではパン工房ハッピーの駐車場に避難を初めて行いました。今後も、実際の火災を想定した訓練を実施していきたいと思えます。(松井)

パン工房ハッピーの隣に流れる洞川は過去に氾濫したことがあり、避難先である竹の子ビルへ経路の確認・避難時に注意する点などを話し合いました。その後、駐車場でも小田原消防様よりお借りした水消火器を、全員で体験しました。水消火器に初めて触る方も数名いて体験する前は「できるかな?」「ちよつと怖いな」など言われていました。実際にいってみると「思ったより簡単だった」「やり方わかったよ」など声が上がりました。とても良い体験ができたと思います。(和田)





竹の子学園と竹の子ビ
ルに分かれて、リモート
形式による職員研修会を
開催しました。

講師に神奈川県福祉子
どもみらい局福祉部障害サー
ビス課の
中嶋崇文氏をお招きし、『障
害者虐待防
止及び身体拘束等の適正化
について』
ご講義いただきました。

主に「障害者虐待について？」「身体拘
束について何？」「令和四年度からの変更
点について何？」の、三つの項目から構成
された質疑応答では、身体拘束に関する「個

別支援計画との連動」「記録の取り方」「服
薬の考え方」等々。改めて書類の準備か
ら身近な支援の在り方についてまで、た
くさんの学びを深めることができました。

明星会では、
虐待防止委員会
を定期的に開催
しています。引
き続き、マニユ
アル整備、身体
拘束等適正化に
ついての確認等、
検討していきたい
と思います。

(清田)



職員にリスクマネジメントについて調査
をしたところ、出来事報告書の提出は、一
部で反省文やペナルティと捉えていること
が判明したため、研修会を開催しました。
チームで危機管理に取り組むことは、利用
者の安全とサービス満足度の向上につな
がることを改めて感じました。出来事報告書
は、提出する過程で、職員間でコミュニケー
ションをとり、リスクを検討し、事故を防
ぐためのツールであることも再確認できま
した。また、KYT(危険予知訓練)を行い、
自分の気づく力と、人により着眼点に違い
あることを実感しました。(林)

竹の子祭中止のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の影響も第7波の
ピークを過ぎて下降傾向にありますが、未だ法
人内でも少数の感染者・濃厚接触者の報告が続
いている現状から、今年も「竹の子祭」を中止
することになりました。

コロナ禍が長引き、感染症防止のため地域行
事としての開催を見合わせるようになりますが、
今回竹の子学園では、感染リスクを可能な
限り減らしながら、秋のミニイベントに形を変
えて、利用者様とご家族様の茶話会を家族会と
ともに企画しています。

来年のこの時期、感染症の影響が及ばないよ
うなることを期待しながら、今年度の竹の子
祭中止について、ご理解とご協力をいただきま
すようお願いいたします。

(総合施設長 晝場)

役員会等開催報告

9/14

【令和四年度第二回理事会】が令和四年九月十四
日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催されまし
た。理事に就任された坂井理事の挨拶のあと、理事
長より第一回職務執行状況報告、
他に経営状況報告がありました。
決議事項は以下の通り。議案第
一号「令和四年度 第一次補正
予算案について」、議案第二号「福
祉・介護職員等ベースアップ等
支援加算支給に関する規程の制
定及び諸規定改定について」、が
承認されました。(藤澤)



法人では、様々な研修を実施しています。

・階層別研修『他事業所との連携について』
意思決定支援を意識した記録の着眼点

監督職・指導職 六月二十三日

上級 七月十五日

中級 十月二十六日(予定)

管理職 十二月十四日(予定)

・法人内新人研修 八月十日

・非常勤職員スキルアップ研修

『相手の立場になって声かけを考える』

五月二十七日・七月七日・九月九日

法人内全事業所の非常勤職員を三グルー
プに分けて研修を行いました。

・人事考課者研修 九月二十日

新職員紹介

竹の子学園

さいだ 齊田 円



趣味はタイ古式マツサージ
です。タイに四ヶ月住んでい
ました。これから皆さんのお
役に立てるよう頑張りますのでよろしくお
願いします。

竹の子学園

片野 俊五 (非常勤職員)

相談支援センター

市沢 和枝 (非常勤職員)

退職職員

竹の子学園

市川 梓 (非常勤職員)

竹の子ケアセンター

金子 茂 (非常勤職員)